



春、ゆらめく

藤

迎 接

齢五百年を超える「迎接の藤」で境内一面が紫に染まる定禅寺。通称「藤寺」と呼ばれるこの寺で、まもなく花が見頃を迎え、百数十年ぶりの催しが行われます。

白雲山定禅寺晋山式

4月29日 祝

9:15～ 虚無僧・稚児練り歩き
(迫公民館～定禅寺) 定禅寺

10:00～ 藤供養(儀式)

12:30～ 琴演奏



「甘い香りの中で虚無僧が尺八を披露。今年には11歳の華やかな衣装の稚児68人も、行列に参加します。」

問 白雲山定禅寺(弁城3624番地) ☎22-0637

町長日誌

▼春の到来を告げるかのように、福智連山の表情が和らいできたのではないかと感じているのは、

私だけでしようか。万物に生気が蘇り、希望に満ちた未来を予感させる——そんな、春という季節が持つている明るく豊かなイメージを、まちづくりの視点にも、取り入れたいと考えています。それは、町民のみなさんが、前向きに、そして主体的に将来への展望や期待感を抱けるような環境の創出こそ、行政に求められている唯一無二のものだと、理解しているからです。そのような観点から、今年度の施政方針を作成いたしましたので、重点的な施策のみご報告させていただきます▼現代社会では、「人と人とのつながり」の稀薄化が進み、地域コミュニティの存立さえ危惧される状況になっているのは、ご承知の通りです。しかし、私たちが苦境に立たされた時に、一番頼りにできるのは、人の温かさであり、救いの手を差し伸べてくれる優しさや思いやりではないでしょうか。そのためにも、引き続き、お互いに支え合い、助け合える地域づくりに努めたいと存じます▼また、福智町活性化の方策として、「観光のまち」の基盤整備に取り組んでいます。来町者に対する「もてなしの心」を町全体で共有することが、必要不可欠になると考えています。その「もてなしの心」の最たるものは、心のもつた「あいさつ」であるとの思いから、日本「あいさつ」のできる町を目指し、みなさんのご理解とご協力をいただきたいと存じます▼「隗より始めよ」。私も、実行します。

浦田 弘二